

科目区分	専門教育科目	科目名	プレゼミナール		科目コード	19L790	担当者	森 弘行、武藤 玲路、 濱口 なぎさ			
対象学生	ビジネス・医療秘書コース 1年生		学期区分	通年	単位数	1	担当形態	オムニバス			
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件	必修				
						免許・資格要件					
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
身近な地域の問題を発見し、それを解決するための筋道を定める能力を身につける。						1. 「尽心」 誠実な人柄と 人間力	2. 「創造」 高度な知性と 創造力	3. 「実践」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・ 真摯性	② 多様性・ 協働性	③ 知識・ 技能	④ 表思考・ 創造断力	⑤ 主体性・ 自立性	⑥ 就業力・ 貢献力
1.	自ら課題を発見し、根拠に基づいた論理的思考で解決していく方法を見つけることができる					○	○	○	○	○	○
2.	自分の考えを明確に表現し、他者とのコミュニケーションを円滑に進めることができる					○	○	○	○	○	○
3.	PCソフトを活用し、効果的な情報発信ができる					○	○	○	○	○	○
4.						○	○	○	○	○	○
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						提出物（40%） 発表内容（40%） 受講態度（20%）					
学生による主体的・能動的な学修形態をとり、授業の時間は進捗状況の発表、作業の打ち合わせなどが中心で、それ以外の時間を調査・研究に充てる。											
課題等への対応						授業外学修時間					
定期的にプレゼンテーションの場を設け、自己評価、他者評価等を参考にフィードバックを行う。						課題への取り組みで週1～2時間					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
第1回	ガイダンス、調査・研究活動の方法					地域の諸問題について事前調査					
第2回	地域の諸問題について情報収集					収集した情報の整理分析					
第3回	現地調査・情報収集					収集した情報の整理分析					
第4回	現地調査・情報収集					収集した情報の整理分析					
第5回	現地調査・情報収集					収集した情報の整理分析					
第6回	現地調査・情報収集					発表用スライドの作成					
第7回	調査内容についてプレゼンテーションとフィードバック					指摘事項等の見直し					
第8回	社会調査の基礎的な知識の習得					授業のポイント整理					
第9回	グループワーク：社会調査のジャンル決定					社会調査のポイント整理					
第10回	グループワーク：社会調査の具体的な計画立案①					社会調査の実施					
第11回	グループワーク：社会調査の具体的な計画立案②					社会調査の実施					
第12回	グループワーク：社会調査実施後の集計と分析					データの集計・分析					
第13回	グループワーク：社会調査実施内容の報告準備					発表用スライドの作成					
第14回	各グループによるプレゼンテーションとフィードバック					指摘事項の見直し					
第15回	ゼミナールのテーマ設定・グループディスカッション					授業のポイント整理					
試験	定期試験を実施しない										
教科書	必要に応じてプリントを配布する				受講生への メッセージ	プレゼミナールは「考える」「行動する」「発信する」ことを身につけ、2年次のゼミナールへとつなげる授業です。身近な地域の中から課題を探し、自ら解決策を考えることで社会の一員としての自分の立ち位置が見つかるかもしれません。					
参考書等	新聞、各地方自治体が発行する広報誌など										